



笠原 文善さん

パンや麺の食感をよくしたり、ゼリーを固めたり。生活に欠かせない添加物「アルギン酸」で世界シェアの約2割

フォーカス

チリ進出で拡大 勇気ある経営大賞に

を握るといふキミカ(東京・中央)社長として陣頭指揮を執る。安価な海外品の流入など経営環境が厳しくなる中で、日本の

れていた時期。周囲から「事業転換した方がいい」という声が出ていたが、「場当たり的な戦略に将来はない。苦しくてもアルギン酸を深掘りする」ことを決めた。

生き残りかけた「深掘り」

製造業がほとんどいなかった原料供給元のチリに進出。高品質品を量産できる体制を築き、挑戦する中小企業を表彰

1984年に27歳で事実上の社長に就いた。当時は安い中国製品が出回り、国内の生産の海藻が採れる地での生産は強みになるとの読みだった。

競合企業が再編や撤退をすすめる中で、連結売上高は就任時の8倍以上にあたる約84億円に。「これからは医療分野の用途を開発していく」とさらなる成長に挑む。

II かさはら・ふみよし、60歳